

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	校外研修（令和5年7月13日～14日）
教科・領域等	学術研究Ⅰ・Ⅱ（学校設定科目）、特別活動
活動学年等	第2学年
ねらい	①進路希望または学術研究での研究内容について、中心的な機関が集中する首都東京において関連のある大学や公官庁、研究機関、民間企業等への訪問を通じて、課題解決に対する自発的・能動的姿勢を育むとともに、将来の生き方についての考えを深める。 ②平素と異なる生活環境において見聞を広めるとともに、集団宿泊的行動を通して、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積む。 ③学年行事として、自他の個性の理解と尊重をはかり、より良い人間関係の在り方を考える契機とする。

【実践内容】

本校2年次における「校外研修」の歴史は古く、約50年前に山小屋HRという形で行われた蔵王にある井戸沢小屋での宿泊行事に始まり、その後、移動HR、校外研修と名称を変えつつ、東京方面での研修へとその内容も変化してきた。途中、東日本大震災や新型ウィルス感染症拡大によって中止を余儀なくされることもあったが、約半世紀にわたって仙台一高の2年生は宿泊をとおして級友と共に過ごし、互いに言葉を交わし、自らの見聞を広めるために研修を行ってきた。現在、学年行事として行われている「校外研修」は、学術研究Ⅱで行っているゼミごとの課題研究に関連付けた「班別研修」と、学校生活の基盤である学級単位毎の「クラス別研修」の二本立てである。

校外研修のもう一つの柱は、同窓生（卒業生）による講演会である。一高で青春時代を過ごし、現在は日々社会で揉まれながらも各方面で活躍されている先輩方の経験に基づいた講演は、テーマは違えども生き方に対する教訓を与えてくれるものである。

1日目

- 班別研修（ゼミ班ごとの研修・研修先2カ所程度）
- 東京同窓会による社会人講話（宿泊先ホテル内の会場など）

2日目

- クラス別研修（クラスごとに貸し切りバス）



〔班別研修先〕

東京理科大学・早稲田大学・東邦大学・東京理科大学・東京都立大学・東京大学・明治大学・二松学舎大学・工学院大学・東京農業大学・玉川大学・慶應義塾大学・相模女子大学・日本工業大学・東京学芸大学・お茶の水女子大学

JICA 地球ひろば・宇宙航空研究開発機構調布航空宇宙センター・宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター・環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室・国文学研究資料館・国文学研究資料館・国立科学博物館植物研究部・国立教育政策研究所初等中等教育研究部・国立国語研究所・国立スポーツ科学センター・こども家庭庁・自然科学研究機構国立天文台三鷹キャンパス・文化庁・防衛研究所国際紛争史研究室・国立科学博物館・国立競技場・国立科学博物館・気象科学館・日本オリンピックミュージアム・日本科学未来館・東京消防庁池袋防災館・東京

都立中央図書館・東京都立戸山高等学校・東京国立博物館・東京都美術館・東京臨海広域防災公園防災体験学習施設
 そなエリア東京・江東区深川江戸資料館・船の科学館・小石川植物園・板橋区立熱帯環境植物館
 花王ミュージアム・DaiichiSankyo くすりミュージアム・角川武蔵野ミュージアム・東武鉄道博物館・深川江戸資料館
 ・三菱みなとみらい技術館・ANA Blue Hanger Tour・PLANETARIA YOKOHAMA・TOKYO GLOBAL GATEWAY・アサヒ飲料株式会社
 ・秋葉原UDX サボニウス広場・朝日新聞東京本社・株式会社Cygames モバイルゲーム・株式会社アース製薬東京支店
 横浜出張所・株式会社サイゼリヤ日本橋浜町店・株式会社ビクセンショールーム・東京電力ホールディングス本社
 ・株式会社リクルート本社・金の星社・講談社・サントリー商品開発センター・数研出版東京本社編集局
 ・チームラボプラネッツ TOKYO DMM・東京コピーライターズクラブ (TCC)・東京タワー・ニチレイ東銀座ビル
 ・日本トイレ研究所・ハイパフォーマンススポーツセンター・ハラル・ジャパン協会・東日本旅客株式会社サービス品質改革部
 ・靖国神社・ヤマハ銀座店・一般社団法人ヤングケアラー協会・藤倉航装株式会社

志教育の視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input checked="" type="checkbox"/> はたす
--------	---

活動名	合同巡検 (令和5年7月6日～7日)
教科・領域等	理科・地歴公民科、特別活動
活動学年等	第1学年
ねらい	集団行動を体験させることにより、集団生活のルールや公衆道徳、および対人関係の在り方などを学ばせるとともに、宿泊体験などとおして、生徒と教師のコミュニケーションを深める。

【実践内容】

合同巡検は理科と地歴公民科が中心となって1学年と連携して行う行事である。自然科学分野では野外観察実習を行い、生物観察の基礎技術習得と研究課題発見力を養う。また、博物館見学では保存資料に関する調査研究により得られた成果を展示や学芸員による解説を踏まえて理解を深めることを狙いとする。人文社会分野では、魚市場と震災伝承館を訪問し、直接解説を聞くことで海がもたらす恵みと災害を理解し、1つの事象が多様な面を持つことを学んでいく。巡検場所は気仙沼方面とし、入学後すぐに活動は開始される。巡検後には収集した自然科学・人文社会学分野それぞれの情報をもとに分析・活用を行い、まとめのレポート作成まで行う。以上の一連の流れの中で、自分が他者とかかわることの意味や、外部の指導者に情報を求めること、自分の役割を果たすことなどを学ぶことができた。合同巡検は宿泊をともなで行われる。そのため、この行事の準備や当日の活動を通して生徒同士の円滑な人間関係の醸成に資するとともに、集団生活におけるルールや公衆道徳の大切さを改めて気づくことができる行事である。

1日目

1・2・3・4組

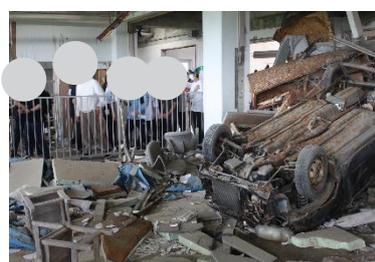
御伊勢浜海水浴場 (生物実習) → 御伊勢崎 (地学実習) → 東日本大震災遺構・伝承館 (地歴公民研修) → 道の駅大谷海岸 (駅長講演・見学) → 岩井崎 (地学実習) → 気仙沼市復興祈念公園 (地理研修) → 宿泊先

5・6・7・8組

気仙沼海の市 (氷の水族館・シャークミュージアム見学) → 気仙沼魚市場 (地歴公民研修講演・見学) → 気仙沼復興祈念公園 (地理研修) → 大船渡市立博物館 (地質説明・考古説明・映像・博物館見学) → 宿泊先

2日目

前半クラスと後半クラスの研修先を入れ替えて実施



志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	学術研究（通年）
教科・領域等	学術研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（学校設定科目）
活動学年等	学術研究Ⅰ・Ⅱは、第1、2学年における必修科目。学術研究Ⅲは第3学年における選択科目。
ねらい	<p>①サイエンス・マインドを持った生徒の層をより一層厚くする取組及び生徒自身のキャリア形成の方向性等に応じた「学習の個性化」に対応した取組を研究開発することにより、教養知・専門知・総合知を身に付けさせる。</p> <p>教養知…科学的に探究する力の養成とサイエンス・マインドの育成 「一般科目」での探究活動、探究スキル表</p> <p>専門知…専門的かつ高度な課題を解決する能力の養成と国際的に活躍できる人材の育成 国際交流・科学技術コンテスト・各種講演会</p> <p>総合知…学びを社会に還元する能力の養成と新たな価値を創造できる学際的人材の育成 各種研究発表会・学校公開・T Aバンク</p> <p>②（学術研究Ⅰ）問題に対して自ら計画を立て、見通しを持って実行し、問題を解決していく力を養う。</p> <p>③（学術研究Ⅱ）課題解決に取り組むことにより、研究手法を学ぶとともに、問題に対して自ら計画を立て、見通しを持って計画を進め、問題を解決していく力を養う。</p> <p>④（学術研究Ⅲ）多角的、複合的に事象を捉え、自然や社会などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。</p>

【実践内容】

（1）学校設定科目「学術研究Ⅰ・Ⅱ」

生徒自ら企画や運営に関わりながら、興味・関心のある事柄（好きなこと）を仲間とともに研究し、多くの人に自分の興味・関心のある事柄のすばらしさを伝える授業。（自分たちで企画し活動するとともに、他者と競い、認め合う授業）

- 1年生4月 学術研究入門（先輩などの研究発表を聴き、研究に対する心構えを感じる）
- 1年生4～9月 プレ課題研究…身近なテーマによる課題研究（課題研究の一連の流れを学習）
- 1年生10月 各自の課題に対しての課題研究…各自のテーマによる課題研究
- ～2年生10月 （物理、化学、生物、地学、数学、情報、国語、地歴、公民、英語、保体、音楽、家庭、災害研究）
- 2年生10～12月 校内発表会（ポスター発表、口頭発表）、追実験
- 2年生1～3月 1年生に課題研究の指導、継続研究（学術研究Ⅲ選択者）
東北地区発表会（学校代表）、SSH学術研究発表会（ゼミ代表）



（2）学校設定科目「学術研究Ⅰ・Ⅱ」における縦割りゼミ活動

赤…主たる活動 青…サポート活動（助言・見学・評価）

【1年生】

	行事（第1期）	行事（第2期）
5月	課題研究講演会（研究の導入）	10月 ゼミ毎ポスター発表会見学
7月	合同巡検（震災遺構見学、生物実習など：気仙沼）	第1回SSH学校公開（ポスター見学） （東北大学学部学科説明会）
9月	プレ課題研究ポスター発表（クラス毎） プレ課題研究ポスター発表（1,2学年） 先端科学技術講演会	12月 ゼミ毎口頭発表会見学 2月 第2回SSH学校公開（テーマ設定発表） 3月 SSH学術研究発表会（ゼミ代表）

【2年生】

行事(第1期)	行事(第2期)
7月 校外研修 中間発表 9月 課題研究講演会(研究のまとめ) ブレ課題研究ポスター発表見学(1,2学年)	10月 ポスター発表(ゼミ毎) 第1回SSH学校公開(ポスター発表) (東北大学学部学科説明会) 12月 口頭発表(ゼミ毎) 1月 先端科学技術講演会 2月 第2回SSH学校公開(テーマ発表) SSH海外研修(台湾) 3月 SSH学術研究発表会(ゼミ代表)

(3) 学校設定科目「学術研究Ⅰ・Ⅱ」のその先へ～キャリア志向：希望者

SS 国際交流(英語による講義、実習、発表会、海外研修)

国際交流参加者 395名から768名へ増加 (R5)

SS 特別講座(3年間で16講座以上の受講)

講演会参加者 1286名から1711名へ増加 (R5)

SS 探究講座(科学技術系コンテストへ挑戦)

学術研究Ⅲ(2年次までの研究活動を継続して大学への研究に繋げる)

学術研究Ⅲ修得者 3名から29名へ増加 (R5)



志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	吹奏楽部によるミニコンサートと交流会(令和5年8月28日)
教科・領域等	部活動
活動学年等	吹奏楽部
ねらい	ミニコンサートや交流会をとおして、人間関係形成能力の育成を図るとともに、社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に考えられる人材を育成する。また、地域との連携を深め、コミュニケーションを図ることで地域の活性化の一助とするとともに、自己の役割を果たすことによって自己有用感を高めさせる。

【実践内容】

社会福祉協議会が仲介しているが、近隣の小学校に対して毎年行っている吹奏楽部の交流会である。コロナ前は全校生徒にミニコンサートを披露することもあったが、現在は参加児童数を限定して行っている。1校時はミニコンサート、2校時は交流会という構成である。小学校卒業から高校までの道のりを部員が語ったり、楽器の指導や指揮者体験を行ったりしている。小学生に対してわかりやすく説明することの大切さに気づいたり、社会における自己の役割を自覚したりする機会となっている。

